

平成15年度マツモ人工種苗養殖試験

ねらい	マツモ人工種苗生産技術の開発によりマツモ養殖の普及を図り、マツモ生産量の増大を目指す。
成果の特徴	陸上水槽を用いたマツモ養殖用人工種苗生産技術を開発した。 岩手県栽培漁業協会種市事業所において生産した人工種苗を用いて養殖試験を実施し、養殖ロープ1m当たり200～300gの収量が得られた。
成果の活用面	人工種苗を用いた養殖技術の普及を図り、岩手県の特産品であるマツモの生産量増大を目指す。

[具体的データ]

岩手県栽培漁業協会種市事業所において試験採苗した約5,000mの人工種苗を用いて、県内4地区で養殖試験を実施した。10月上旬に巻き込み・沖出して養成した結果、生育状況は地区によってバラツキが大きかったが、生育が最も良好な所では釜石湾では1月下旬に施設1m当たり200g、田老では3月上旬に施設1m当たり300gのマツモが収穫された。



写真 マツモ生育状況（左：釜石湾 1月27日，右：田老 3月2日）

今後は、採苗時の遊走子付け密度や、培養水槽への採苗器設置方法など種苗生産技術について詳細に検討するとともに、養殖施設の設置方法や沖出し後の管理方法等養殖技術についてもさらに検討することとしている。

担当者	増養殖部 主任専門研究員 西洞孝広 0193-26-791 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号
	ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/